

**令和2年度 いじめ・不登等総合対策事業 第2回全県研修会
研修2**

いじめ問題への対応について

**令和2年11月10日(火)
長野県教育委員会事務局
心の支援課**

研修2

I 長野県におけるいじめの状況について

令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より

II 学校いじめ防止基本方針のチェックリストについて

法に基づく方針の確認

III 効果的な校内研修について

ワークショップ型研修等の紹介

IV 重大事態防止について

未然防止の取組、発生時の報告など

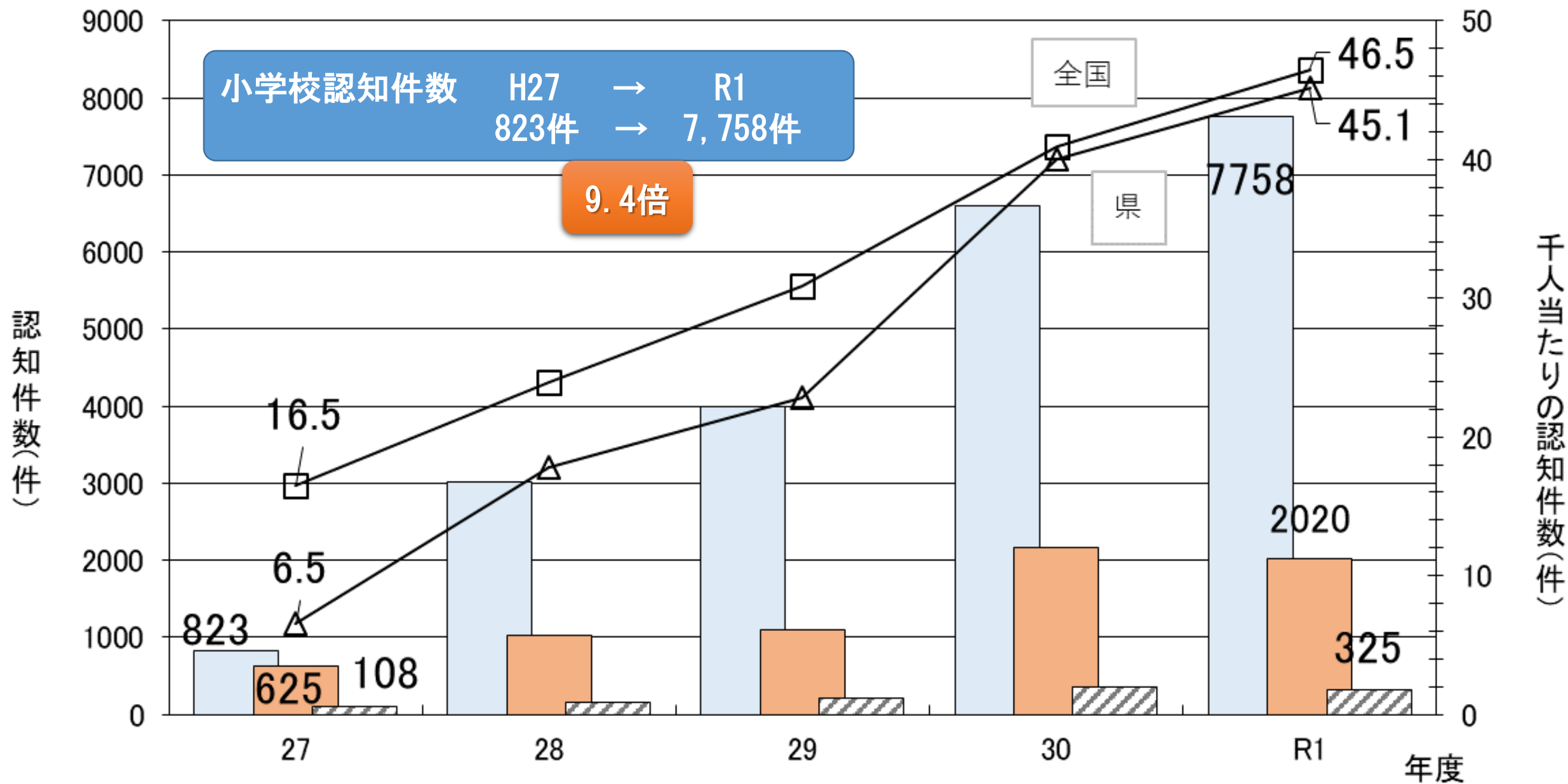
I 長野県におけるいじめの状況について

令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より
(R2.10.22 公表)

- ① いじめの認知件数
- ② 1,000人当たりの認知件数
- ③ いじめの解消の状況
- ④ いじめ発見のきっかけ 等

■ 小学校 認知件数(件)
 ■ 中学校 認知件数(件)
 高等学校 認知件数(件)

全国1,000人当たりの認知件数
 ▲ 長野県1,000人当たりの認知件数



いじめの現在の状況(国公立・小中高特別支援学校)

区分	件数	構成比%		
		県	前年度	全国
解消しているもの※	9,117	89.4	(88.3)	83.2
解消に向けて取組中	1,060	10.4	(11.4)	16.6
その他(保護者の転居等で一定の人間関係が解消)	21	0.2	(0.3)	0.2
計	10,198	100.0	(100.0)	100.0

※解消しているもの

- ①被害者に対する心理的または物理的な影響を与える行為が止んでいる状態が、少なくとも3か月間継続している。
- ②被害児童生徒本人及びその保護者に対する面談等により、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないことが認識できる。

いじめ発見のきっかけ(国公立・小中高特別支援学校)

[単位:件、%]

区 分		令和元年度			H30年度		
		計(件)	構成比		計(件)	構成比	
			県	全国		県	全国
学校の教職員等が発見		5,756	56.4	67.4	4,654	50.6	66.2
内 訳	アンケート調査などの学校の取組により発見	3,397	33.3	54.2	2,711	29.4	52.8
	学級担任が発見	1,945	19.1	10.4	1,505	16.3	10.6
	学級担任以外の教職員が発見	320	3.1	2.2	346	3.8	2.3
	養護教諭が発見	77	0.8	0.3	79	0.9	0.4
	スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	17	0.2	0.2	13	0.1	0.2
学校の教職員以外からの情報による発見		4,442	43.6	32.6	4,552	49.4	33.8
内 訳	本人からの訴え	2,582	25.3	17.6	2,520	27.4	18.3
	本人の保護者からの訴え	1,089	10.7	10.2	1,228	13.3	10.4
	他の児童生徒からの情報	523	5.1	3.4	558	6.1	3.5
	他の保護者からの情報	211	2.1	1.2	189	2.1	1.3
	学校以外の関係機関から	21	0.2	0.1	26	0.3	0.1
	その他(匿名による投書など)	9	0.1	0.1	19	0.2	0.1
	地域の住民からの情報	7	0.1	0.1	12	0.1	0.1
計		10,198	100.0	100.0	9,206	100	100

生活ノートなど連絡帳を通じた日々のやり取りから発見

(注) 構成比については、各区分における「いじめ認知件数の総数」に対する割合を示す。

いじめの状況 成果とリスクマネジメントの視点

- ① 認知件数の増加⇒積極的な取組の結果
認知〇の学校 ⇒認知もれの懸念
- ② いじめの解消 ⇒早期発見・早期に解消
解消の判断 ⇒謝罪の会など形骸化
- ③ 発見のきっかけ⇒基盤となる信頼関係
教師の抱え込み⇒重大事態への恐れ

研修2

I 長野県におけるいじめの状況について

令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より

II 学校いじめ防止基本方針のチェックリストについて

法に基づく方針の確認

III 効果的な校内研修について

ワークショップ型研修等の紹介

IV 重大事態防止について

未然防止の取組、発生時の報告など

II 学校いじめ防止基本方針のチェックリストについて

自校の状況を再確認→「学校いじめ防止基本方針」の内容の見直し
「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組の見直し

1 「学校いじめ防止基本方針」の内容

自校のいじめ防止等の取組に対する基本的な考え方が記述されている	4	3	2	1
複数の教職員、必要に応じて、心理、福祉に関する専門的な知識を有する者や、その他の関係者により構成する「いじめの防止等の対策のための組織」について記述されている	4	3	2	1
いじめの未然防止・早期発見の取組について記述されている	4	3	2	1
いじめ防止等のための取組（定期的な教育相談、アンケート、人権教育強調月間等）が具体的に年間計画に位置づけられている	4	3	2	1
いじめが起きたときの具体的な対応の役割分担について記述されている	4	3	2	1
情報端末機器を使ったネット上のいじめに対応について記述されている	4	3	2	1
基本方針が適切に機能しているか、学校いじめ対策組織を中心に点検し、必要に応じて見直す、というPDCAサイクルが盛り込まれている	4	3	2	1

2 「学校いじめ防止基本方針」の周知・理解

年度初めの職員会議等で、職員に周知している	4	3	2	1
児童生徒に周知している	4	3	2	1
生徒手帳等に記載している	4	3	2	1
ホームページで公開している	4	3	2	1
保護者に配付している	4	3	2	1
地域等へ周知している	4	3	2	1

3 「学校いじめ防止基本方針」の見直し

P D C A サイクルに沿って、適時見直しをしている	4	3	2	1
見直しの際、児童生徒からの意見を取り入れている	4	3	2	1
見直しの際、保護者からの意見を取り入れている	4	3	2	1
見直しの際、地域からの意見を取り入れている	4	3	2	1

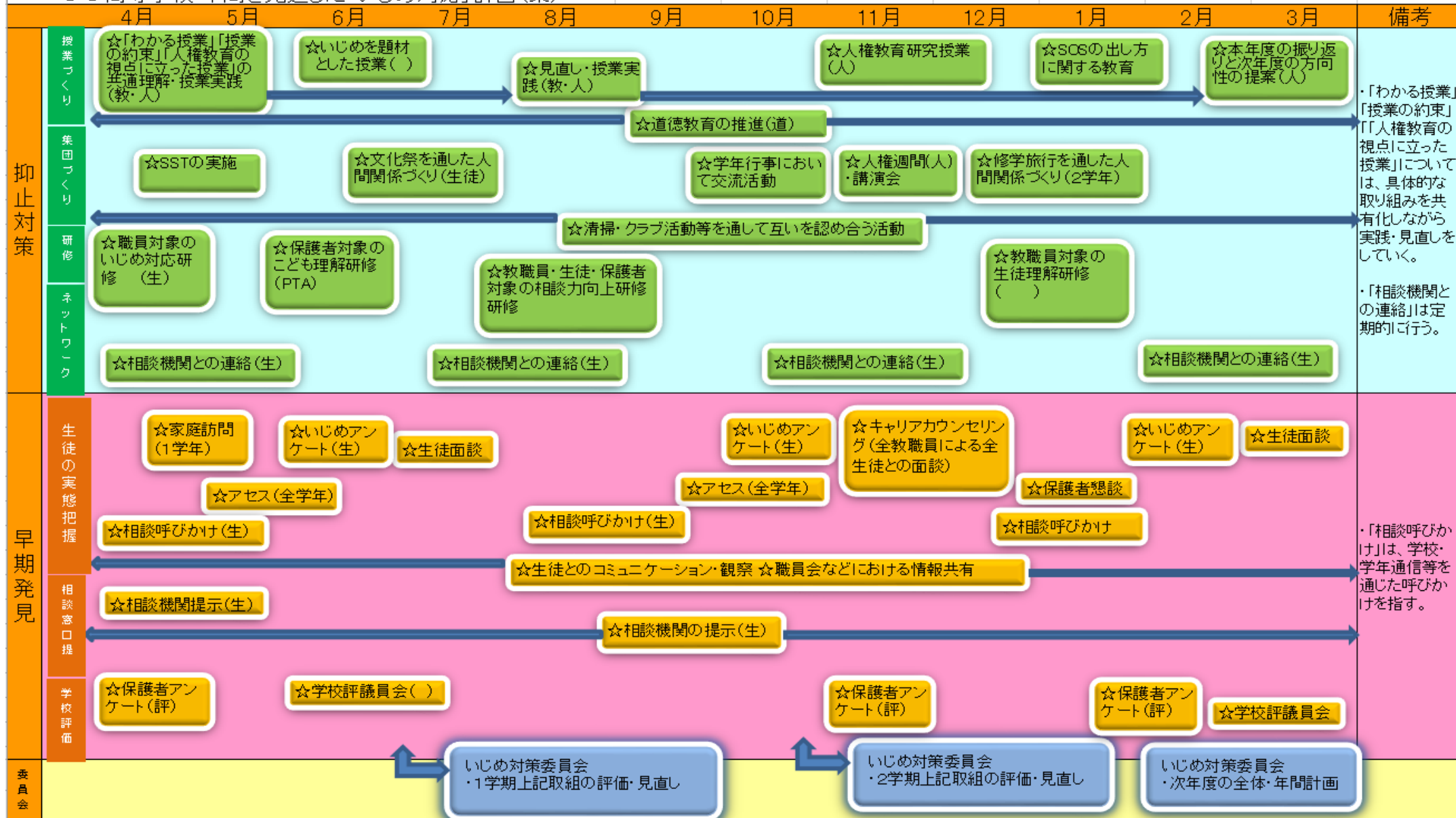
4 学校いじめ防止基本方針に基づく組織的な対応について

いじめの定義について、職員間でズレが出ないように共通認識する研修を行っている	4	3	2	1
いじめが起きたときの具体的な役割分担が機能している	4	3	2	1
重大事態への対応について、全職員と確認している	4	3	2	1
対応の経過や事実確認等、適切に記録され、保管されている	4	3	2	1
保護者への迅速な連絡等について全職員と確認している	4	3	2	1
形式的な謝罪をもって解消とせず、解消はいじめに係る行為が少なくとも3か月止んでおり、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないことを目安とすることを、全職員と確認している	4	3	2	1

チェックの結果から、基本方針及び組織的な対応について、自校の改善点を洗い出し、取り組みましょう。

チェックリストの参考資料

〇〇高等学校 年間を見通した「いじめ対応」計画(案)



*「教」は「教務係」「人」は「人権係」「学」は「学級活動」「生徒」は「生徒会係」「生」は「生徒指導係」「連」は「学校運営委員会など」「評」は「学校評価係など」

研修2

I 長野県におけるいじめの状況について

令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より

II 学校いじめ防止基本方針のチェックリストについて

法に基づく方針の確認

III 効果的な校内研修について

ワークショップ型研修等の紹介

IV 重大事態防止について

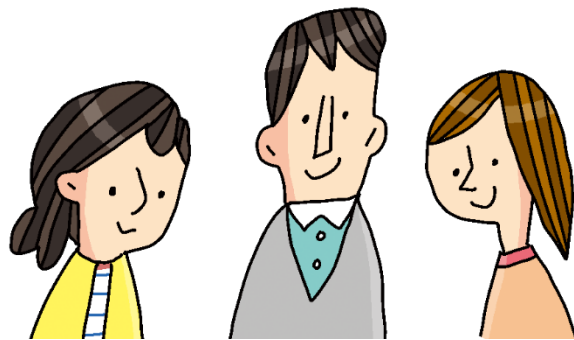
未然防止の取組、発生時の報告など

III 効果的な校内研修について

いじめ問題への教員の意識を高めたい



**参加者自らが積極的に与えられた課題に取り組み、
意見交換を通じて、実践的な知識・技術を学び取る。**



参加体験型グループ学習(ワークショップ)が効果的！

ワークショップ研修の一般的な進め方(例)

① 全体進行は教頭とし、学校長が校内研修を行う目的・意義等を説明

- ・「学校いじめ防止基本方針」「いじめ防止のための年間計画」の確認
- ・校長、教頭で事前に打ち合わせをしておく(特に時間について)

② 3人～5人のグループを作る

- ・年齢、経験値に配慮し、事前にグループを作っておくことが望ましい
- ・「相手の発言を遮らない」「否定しない」「ひとりで長く話さない」等の約束事を確認

ワークショップ研修の一般的な進め方(例)

③ グループ内からファシリテーター(進行役)を決める

- ・校内の状況により指名・互選とする
- ・始める前に中立的な立場であることをみんなで確認しておく

④ 全体の進行者(教頭)が時間を区切ってワークショップを進める

- ・壁掛け時計、スクールタイマー等、全員が可視できるもので指示
- ・意見交換を重視するために資料は最低限のものとし、スクリーン等を活用

⑤ ワorkshop終了時には必ず“振り返り”を行う

- ・一人ずつ振り返り用紙にまとめる(時間がない場合は事後回収)
- ・全体の振り返りをまとめ、後日全員で共有

ワークショップ研修で扱う「事例」について

1 校内で発生した(または発生している)いじめ事例

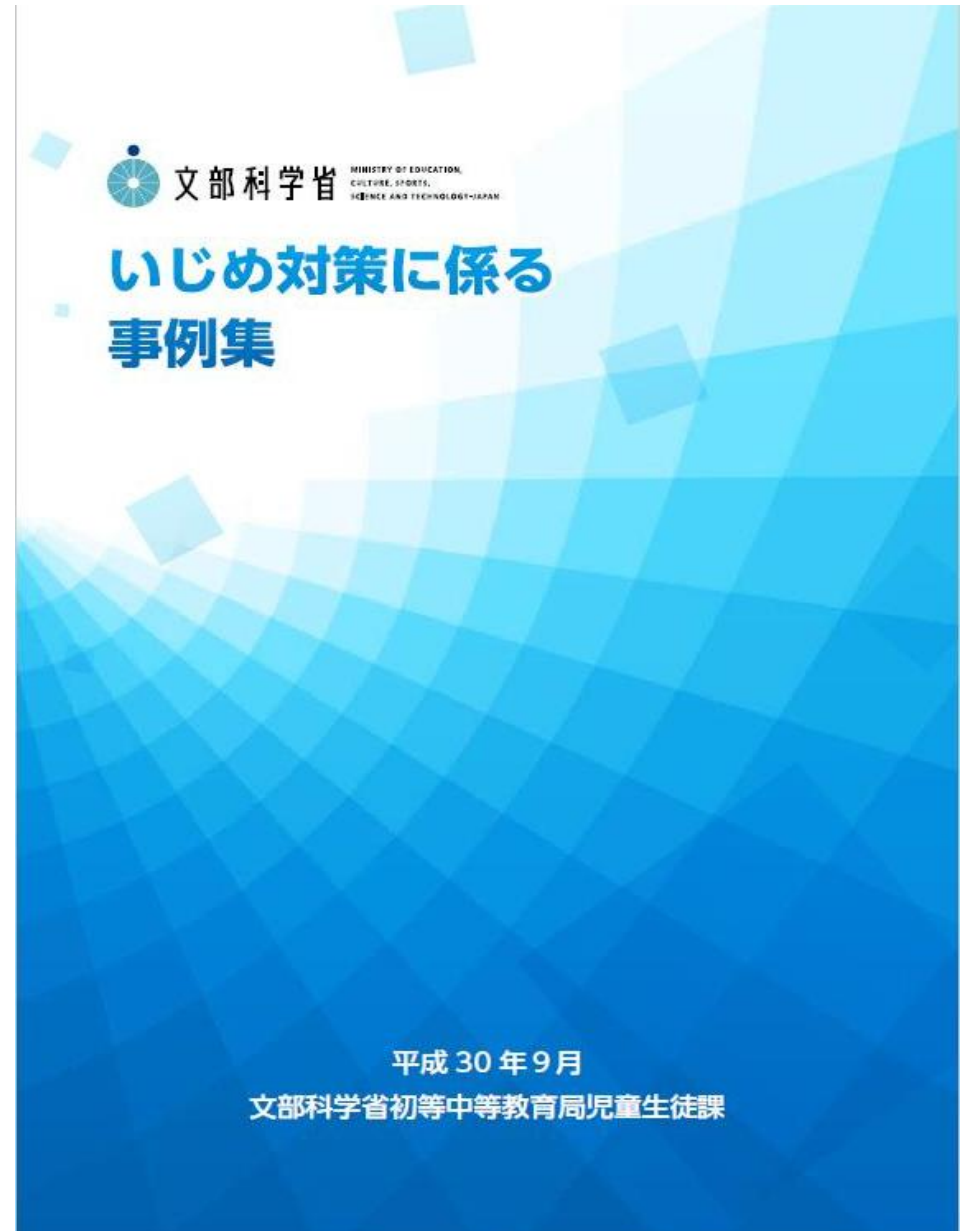
- ・自校の事例を資料とすることで具体的な子どもの姿がイメージできる。
- ・自校の事例を扱うことで、同様の事案の再発防止に役立つ。
など

ワークショップ研修で扱う「事例」について

2 「いじめ対策に係る事例集」 文部科学省平成30年9月 (HPからダウンロード可能)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/_icsFiles/afieldfile/2018/09/25/1409466_001_1.pdf

各学校にも送付されています。



ワークショップ研修で扱う「事例」について

心の支援課作成事例の紹介

事例を通じて「いじめの抱え込み」を抑止

- 👉 15分～20分でできる
- 👉 資料はA4（1枚）
- 👉 教職員の「気づき」の感度が高まる
- 👉 組織的な取組を再確認できる

校内生徒指導研修会用資料（いじめへの初期対応）

年 月 日 氏名 _____

事例の概要

Aさんは『あること』がきっかけで、Bさんたち何人かのクラスメイトから『あだな』で呼ばれるようになった。学級担任はそのことに気づいていたが、AさんはBさんたちと仲良くしていたので安心をしていた。

ある日の昼休み、Aさんの友人のCさんから学級担任に、「Aさんの元気がないこと」「その原因はBさんたちが呼んでいる『あだな』かもしれないこと」について相談があった。

次の日、学級担任は下校するAさんを昇降口で呼び止め、「元気がないけど大丈夫？」と声掛けをしたところ、Aさんは「大丈夫です。」と笑顔で答えたので、しばらく様子を見ることにした。

⋮

数日後、Aさんは体調不良を理由に欠席し、それ以降、登校していない。

↓

学級担任の対応について「気になる点」をあげてみましょう。

↓

グループで共有し、新たに気づいた点をメモしましょう。

↓

CHECK!

事例を参考に、現在の学級・部活やクラブ等において、同様のケースまたはその恐れのあるケースについてグループで共有しましょう。

～メモ欄～

心の支援課作成事例を用いた研修プログラム

○校内生徒指導研修会資料（いじめへの初期対応）
年 月 日 氏名

事例の概要

Aさんは『あること』がきっかけで、Bさんたち何人かのクラスメイトから『あだな』で呼ばれるようになった。学級担任はそのことに気づいていたが、AさんはBさんたちと仲良くしていたので安心をしていた。

ある日の昼休み、Aさんの友人のCさんから学級担任に、「Aさんの元気がないこと」「その原因はBさんたちが呼んでいる『あだな』かもしれないこと」について相談があった。

次の日、学級担任は下校するAさんを昇降口で呼び止め、「元気がないけど大丈夫？」と声掛けをしたところ、Aさんは「大丈夫です。」と笑顔で答えたので、しばらく様子を見ることにした。

⋮

数日後、Aさんは体調不良を理由に欠席し、それ以降、登校していない。

↓

学級担任の対応について「気になる点」をあげてみましょう

↓

グループで共有し、新たに気づいた点をメモしましょう

↓

CHECK!

事例を参考に、現在の学級・部活やクラブ等において、同様のケースまたはその恐れのあるケースについてグループで共有しましょう。

～メモ欄～

研修の流れ

全体読み上げ（教頭等）
〈 2分 〉

ゆっくり、2回くいかえし

心の支援課作成事例を用いた研修プログラム

研修の流れ

○校内生徒指導研修会資料（いじめへの初期対応）

年 月 日 氏名

事例の概要

Aさんは『あること』がきっかけで、Bさんたち何人かのクラスメイトから『あだな』で呼ばれるようになった。学級担任はそのことに気づいていたが、AさんはBさんたちと仲良くしていたので安心をしていた。

ある日の昼休み、Aさんの友人のCさんから学級担任に、「Aさんの元気がないこと」「その原因はBさんたちが呼んでいる『あだな』かもしれないこと」について相談があった。

次の日、学級担任は下校するAさんを昇降口で呼び止め、「元気がないけど大丈夫？」と声掛けをしたところ、Aさんは「大丈夫です。」と笑顔で答えたので、しばらく様子を見ることにした。

⋮

数日後、Aさんは体調不良を理由に欠席し、それ以降、登校していない。

学級担任の対応について「気になる点」をあげてみましょう

グループで共有し、新たに気づいた点をメモしましょう

CHECK!

事例を参考に、現在の学級・部活やクラブ等において、同様のケースまたはその恐れのあるケースについてグループで共有しましょう。

～メモ欄～

各自の「気づき」を
記入します。

〈 2分 〉

箇条書きで！

心の支援課作成事例を用いた研修プログラム

○校内生徒指導研修会資料（いじめへの初期対応）
年 月 日 氏名

事例の概要

Aさんは「あること」がきっかけで、Bさんたち何人かのクラスメイトから『あだな』で呼ばれるようになった。学級担任はそのことに気づいていたが、AさんはBさんたちと仲良くしていたので安心をしていた。

ある日の昼休み、Aさんの友人のCさんから学級担任に、「Aさんの元気がないこと」「その原因はBさんたちが呼んでいる『あだな』かもしれないこと」について相談があった。

次の日、学級担任は下校するAさんを昇降口で呼び止め、「元気がないけど大丈夫？」と声掛けをしたところ、Aさんは「大丈夫です。」と笑顔で答えたので、しばらく様子を見ることにした。

⋮

数日後、Aさんは体調不良を理由に欠席し、それ以降、登校していない。

↓

学級担任の対応について「気になる点」をあげてみましょう

↓

グループで共有し、新たに気づいた点をメモしましょう

↓

CHECK!

事例を参考に、現在の学級・部活やクラブ等において、同様のケースまたはその恐れのあるケースについてグループで共有しましょう。

～メモ欄～

研修の流れ

「気づき」を一つずつ、
順番に発表します。

グループで
「気づき」を共有
〈 8分 〉

理由を加えて発表し共有することで、
先生方の気づきの感度が高まります。

心の支援課作成事例を用いた研修プログラム

○校内生徒指導研修会用資料（いじめへの初期対応）
年 月 日 氏名

事例の概要

Aさんは『あること』がきっかけで、Bさんたち何人かのクラスメイトから『あだな』で呼ばれるようになった。学級担任はそのことに気づいていたが、AさんはBさんたちと仲良くしていたので安心をしていた。

ある日の昼休み、Aさんの友人のCさんから学級担任に、「Aさんの元気がないこと」「その原因はBさんたちが呼んでいる『あだな』かもしれないこと」について相談があった。

次の日、学級担任は下校するAさんを昇降口で呼び止め、「元気がないけど大丈夫？」と声掛けをしたところ、Aさんは「大丈夫です。」と笑顔で答えたので、しばらく様子を見ることにした。

⋮

数日後、Aさんは体調不良を理由に欠席し、それ以降、登校していない。

↓

学級担任の対応について「気になる点」をあげてみましょう

↓

グループで共有し、新たに気づいた点をメモしましょう

↓

CHECK!

事例を参考に、現在の学級・部活やクラブ等において、同様のケースまたはその恐れのあるケースについてグループで共有しましょう。

～メモ欄～

研修の流れ

「あの子は、いじめではないと思う」などの**思いこみに注意!**

先生方の「**あれっ?**」「**もしかして**」と感じたことが、いじめの早期発見につながります。

自校の子どもについての「**気づき**」を共有します。

〈 3分 〉

心の支援課作成事例を用いた研修プログラム

研修の流れ

講評・まとめ（校長）
〈 5分程度 〉

○校内生徒指導研修会用資料（いじめへの初期対応）

年 月 日 氏名

事例の概要

Aさんは『あること』がきっかけで、Bさんたち何人かのクラスメイトから『あだな』で呼ばれるようになった。学級担任はそのことに気づいていたが、AさんはBさんたちと仲良くしていたので安心をしていた。

ある日の昼休み、Aさんの友人のCさんから学級担任に、「Aさんの元気がないこと」「その原因はBさんたちが呼んでいる『あだな』かもしれないこと」について相談があった。

次の日、学級担任は下校するAさんを昇降口で呼び止め、「元気がないけど大丈夫？」と声掛けをしたところ、Aさんは「大丈夫です。」と笑顔で答えたので、しばらく様子を見ることにした。

⋮

数日後、Aさんは体調不良を理由に欠席し、それ以降、登校していない。

学級担任の対応について「気になる点」をあげてみましょう

グループで共有し、新たに気づいた点をメモしましょう

CHECK!

事例を参考に、現在の学級・部活やクラブ等において、同様のケースまたはその恐れのあるケースについてグループで共有しましょう。

～メモ欄～

- ・研修のねらい
- ・事例についてのコメント
- ・「抱え込み」禁止の法的根拠

等について『事例検討のポイント』を参考に講評等を行います。

研修2

I 長野県におけるいじめの状況について

令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より

II 学校いじめ防止基本方針のチェックリストについて

法に基づく方針の確認

III 効果的な校内研修について

ワークショップ型研修等の紹介

IV 重大事態防止について

未然防止の取組、発生時の報告など

Ⅳ 重大事態防止について

**「いじめ重大事態」に係る法的内容を
確認しておきましょう！**

① **「いじめ防止対策推進法」** H28改正

第二十八条（重大事態への学校の対処）

② **長野県「いじめ防止等のための基本的な方針」** H30改定

P.13 5 重大事態への対応（速やかに対応チームを組織）

③ **いじめの重大事態の調査に関するガイドライン**

平成29年3月文部科学省

いじめの「重大事態」には2種類ある

1 いじめにより**児童生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがある事態**

- いじめを苦にした自殺、自殺未遂、等
- 身体に重大な障害、多額の金銭恐喝、等

2 いじめにより**児童生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがある事態**

- **いじめが原因となった不登校**

※**いじめを理由とした転学・退学も重大事態**です。

※児童生徒や保護者から、「いじめにより重大な被害が生じた」という**申立て**があったときは、**重大事態が発生したものとして報告・調査等**に当たる。

いじめの「重大事態」が発生した場合は

県立学校は心の支援課へ報告

市町村立の学校は市町村教育委員会へ報告



重大事態発生の報告を速やかに行うことにより

①指導主事、SC・SSW等の派遣

②詳細な調査を実施（学校 or 教委）

参照「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」

H29.3月

文部科学省

いじめ重大事態の未然防止について

「いじめはどの学校でもどの子どもにも起こり得る」



早期の認知！

- ・職員研修によるいじめの定義に基づく正しい認知
- ・学校基本方針に基づく組織的な対応の見直し

適切な対応！

- ・適切な事実確認と記録の保存
- ・重大事態「疑い」の段階から設置者に報告

等

いじめ重大事態の報告について

○重大事態が発生した場合とは、

「いじめにより重大な被害が生じた**疑い**があると認めるとき」



「**疑い**」の段階で学校の設置者に報告

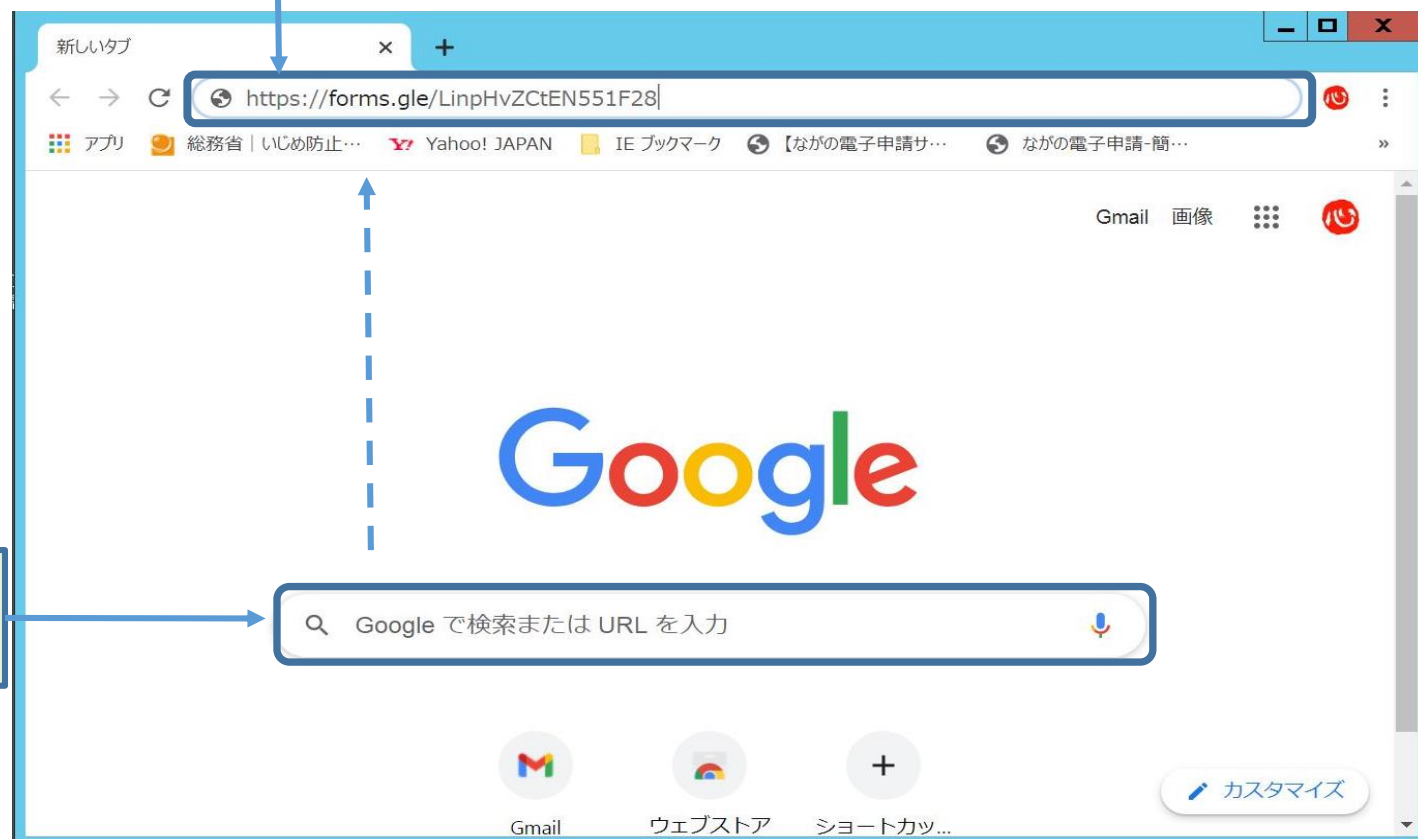


- ・事態の悪化を防ぐことにつながる
- ・事態の早期解消につながる
- ・学校の隠ぺいなどの疑いを持たせない

その他 感想等の入力送信について (Google フォーム)

- 1 オンライン研修への接続と感想等入力についての通知を参照
GoogleフォームアドレスをGoogleクロームにコピー&ペーストする。

<https://forms.gle/LinpHvZCtEN551F28>



こちらにアドレスを貼り付けても大丈夫です。
自動的にアドレスバーに移動します。

2 Google フォームにアクセスするので、感想等の入力をする。

The image shows a web browser window displaying a Google Form. The browser's address bar shows the URL: docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSevTlp6wDtgiBcHntxUx2t0RJ8nJMhiGYffL_KzunfAyyvL... The form title is '令和2年度 第2回全県研修会 参加者アンケート (高等学校及び生徒指導専門指導員用)'. Below the title, there is a red asterisk indicating a required field. The first question is '学校番号 (2桁) を入力してください。' with a note: '※教育事務所 生徒指導専門指導員の方は入力なし'. The input field contains the text '回答を入力'. The second question is '学校名 (教育事務所名) を入力してください。' with a red asterisk. The input field contains the text '回答を入力'. The browser's taskbar shows several open applications, including '総務省 | いじめ防止...', 'Yahoo! JAPAN', and 'IE ブックマーク'.

令和2年度 第2回全県研修会 参加者
アンケート (高等学校及び生徒指導専門
指導員用)

*必須

学校番号 (2桁) を入力してください。
※教育事務所 生徒指導専門指導員の方は入力なし

回答を入力

学校名 (教育事務所名) を入力してください。*

回答を入力

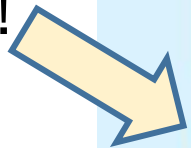
3 感想等の回答入力が終了したら、送信ボタンを押す。

※ 送信ボタンを押す前に、この画面で印刷すると入力した回答状況が印刷されます。

以上でアンケート項目は終了です。アンケート項目枠が赤色になっている場合は、エラーが検出されていますので、送信ボタンをクリックしても画面が変わりません。エラー修正（入力訂正）するとアンケート項目枠の赤色が解除されます。エラーを修正した後、送信ボタンをクリックしてください。データが送信されると画面が変わり、「回答を記録しました。」と表示されます。この画面に「回答を編集」と「別の回答を送信」項目があるので、「回答を編集」をクリックすると回答訂正ができます。回答訂正をした場合は、回答訂正後に再度、送信ボタンをクリックしてください。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。研修、お疲れさまでした。

これです！



送信

4 回答の送信ボタンを押すと画面が変わります。

令和2年度 全県研修会 参加者アンケート
（高等学校及び生徒指導専門指導員用）

回答を記録しました。

[回答を編集](#)

[別の回答を送信](#)

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

回答をやり直したい時

続けて別の方が入力する時

回答を編集

別の回答を送信

これで回答入力・送信は終了です！

いじめ問題への対応について

以上で研修は終了です。お疲れ様でした。

令和2年11月10日(火)
長野県教育委員会事務局
心の支援課